

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所 放課後等デイサービスのどか

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		
	②	職員の配置数は適切であるか	1	6		利用者の人数を考慮し、調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6	1	一部の段差はスロープを作成したが、全部の段差にはできておらず、今後改善していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5	1	業務改善をスムーズに実行できるようにし、記録に残していくように改善する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		評価表を活用し保護者の意向を反映させて行くよう業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2	関係機関との連絡や意見交換の機会を設けていくよう改善する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		昨年度に比べ、研修機会を増やし確保できた。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		利用者のニーズに留意した取り組みができるよう計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		アセスメントシートの活用など、定期的に見直しを行い、わかりやすいツールを備えている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		スタッフ全員に話をし、意見を聞いて活動プログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	1	人数や子どもの状況に合わせて変えたりして行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	1	製作活動や外出など平日にはできないことを長期休暇に実施するようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	1	タイムテーブルを基に個別・集団活動を設定しており、子どもの状況に応じて臨機応変に対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援開始前に職員間で打ち合わせを行い、支援内容等の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		その都度必要なことは伝達したり、気づいた点は共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		連絡ノート、業務日誌を使い支援の検証改善に繋げている。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		定期的にモニタリングを行い、必要に応じてアンケート等も活用しニーズや目標を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	3	1	現在は地域交流が出来ておらず今後機会を増やしていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		児童発達支援管理責任者が参画できている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		学校との情報共有には努めている。また、連絡調整が確実にとれるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2		聞き取りの際、病院の連絡先等どうしたらよいか対応法を聞いている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	1	相談支援事業所の担当者を通じて情報共有に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	1	今後障がい福祉サービス事業所へ連絡を取りそれまでの支援内容等の情報を提供していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	必要に応じて連携し、助言を頂いている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	現在保護者の意向で避けているが、今後機会を作っていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	1	地元みやこ町の自立支援協議会は現在休まれているので、他地域の情報を得て参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		連絡帳の活用や送迎時の際に伝え、情報の共有を行っています
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		理由と共に対応の仕方を提案し、より良い行動や情緒の安定につながるよう心掛けている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		パンフレットを定期的に見直し、丁寧な説明を心掛けている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		一緒に考え、必要な場合は関係機関とも相談し、助言と支援を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	5	昨年度はコロナの影響で中止としたが、今年度からは又、再開できるよう保護者同士で話ができる機会を必要に応じて作っていく。

非常時等の対応	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情の内容についてスタッフ全員で共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		毎月、行事予定やメニュー表を発信している。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	7			保管場所に鍵をつけて対応。守秘義務の遂行
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2		正しく伝達できるよう文書にしたり、直接保護者との連絡を主としている。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6	コロナの関係上現在には行えないが、今後やっていきたい事である。
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		周知を徹底するために職員にマニュアルの配布、及びシミュレーション研修を実施している。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			非常災害発生に備え、避難訓練を年に2回(1月と6月)実施している。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		新入社員研修及び年に複数回の勉強会を開催している。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		組織的には決まっているが、まだ事例がない為行っていない。 どうしても身体拘束が必要になった場合は、事前に説明し了解を取ったうえで、放課後等デイサービス計画に記載する。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		アセスメントによる情報で対応している。 食物アレルギーがある場合、指示書をご家族より提供して頂き対応している。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	具体的な事例を作成し、どう対応していくかをしっかり決め把握する。

回答者7名